

1. 事業説明シート

<p>事業名</p>	<p>急傾斜地崩壊対策事業 [急傾斜地崩壊対策事業 (国補)]</p>	<p>事業箇所</p>	<p>大月市富浜町鳥沢</p>	<p>地区名</p>	<p>袴着 (ハカマギ)</p>	<p>事業主体</p>	<p>山梨県</p>																																						
<p>(1) 事業の概要</p> <p>①課題・背景 袴着地区は山梨県東部の大月市富浜町鳥沢に位置する急傾斜地であり、平成21年11月30日に土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域が指定されている。当該斜面は、平均斜面高10m、平均勾配47度の急傾斜地で、保全対象は人家8戸であることから、当該斜面が崩壊した場合、人命に影響のある災害となる可能性が高いため、事業の実施が急務である。</p> <p>②整備目標・効果 □主要目標 ○崖崩れ被害の防止 ・災害実績：無 ・保全人家戸数：8戸 > 5戸以上※ ・重要公共施設の有無：有 国道20号 (第一次緊急輸送道路) (保全対象：人家8戸、国道20号 L=84m、市道 L=33m、橋梁 L=4m) ※評価基準値 □副次目標 — □副次効果 ○被災時の被害波及防止 国道20号 (第一次緊急輸送路)</p>				<p>(3) 事業の妥当性評価</p> <p>①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 妥当 妥当でない 急傾斜地法第12条に基づいており、行政が行うことが妥当。 <input type="radio"/> <input type="radio"/></p> <p>②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) <input type="radio"/> <input type="radio"/> 急傾斜地法第12条に基づいており、行政が行うことが妥当。</p> <p>③経済妥当性 <input type="radio"/> <input type="radio"/></p> <table border="1" data-bbox="1108 462 2004 678"> <tr> <td>総事業費</td> <td>300 百万円</td> <td>工期</td> <td>R8~R15</td> <td>基準年</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>250 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">771 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>249 百万円</td> <td>一般資産被害抑止</td> <td colspan="2">148 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>1 百万円</td> <td>公共土木施設等被害抑止</td> <td colspan="2">8 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>人身被害抑止</td> <td colspan="2">45 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">570 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">B/C</td> <td colspan="3">3.1</td> </tr> </table> <p>※その他は応急対策 (家計)、人的被害 (精神的損失) 費用便益比 (B/C) は1.0を超えており、経済効率性は確保されている。</p>				総事業費	300 百万円	工期	R8~R15	基準年	R7	経済効率性	費用	250 百万円	便益	771 百万円		建設費	249 百万円	一般資産被害抑止	148 百万円		維持管理費	1 百万円	公共土木施設等被害抑止	8 百万円				人身被害抑止	45 百万円				その他※	570 百万円		B/C			3.1		
総事業費	300 百万円	工期	R8~R15	基準年	R7																																								
経済効率性	費用	250 百万円	便益	771 百万円																																									
	建設費	249 百万円	一般資産被害抑止	148 百万円																																									
	維持管理費	1 百万円	公共土木施設等被害抑止	8 百万円																																									
			人身被害抑止	45 百万円																																									
			その他※	570 百万円																																									
B/C			3.1																																										
<p>(2) 整備内容</p> <p>①整備内容 吹付砕工 A=1,800m²</p> <p>②着手年度 令和8年度 ③完成見込年度 令和15年度</p> <p>④総事業費 約300百万円 (国費:135百万円(4.75/10)、県費:135百万円(4.75/10)、その他:30百万円(0.5/10))</p> <p>⑤年度別の整備内容 (事業費)</p> <table border="1" data-bbox="224 1053 1008 1181"> <tr> <td>令和8年度</td> <td>測量、地質調査、詳細設計</td> <td>20 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和9年度</td> <td>用地測量・調査、用地取得・補償</td> <td>10 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和10~15年度</td> <td>吹付砕工</td> <td>270 百万円</td> </tr> </table>				令和8年度	測量、地質調査、詳細設計	20 百万円	令和9年度	用地測量・調査、用地取得・補償	10 百万円	令和10~15年度	吹付砕工	270 百万円	<p>④事業実施・規模の妥当性 <input type="radio"/> <input type="radio"/> 地形状況を考慮し、必要最小限の規模とした。</p> <p>⑤整備手法の有効性 <input type="radio"/> <input type="radio"/> 地形・地質状況から最も効果的かつ経済的な工法とした。</p> <p>⑥環境負荷等への配慮 <input type="radio"/> <input type="radio"/> 環境負荷の少ない工法を採用する。</p> <p>⑦事業計画の熟度 <input type="radio"/> <input type="radio"/> 地元要望に基づいており、大月市から受益者負担金の同意は得られている。</p> <p style="text-align:right">総合評価 [貢献度ランク：a]</p>																																
令和8年度	測量、地質調査、詳細設計	20 百万円																																											
令和9年度	用地測量・調査、用地取得・補償	10 百万円																																											
令和10~15年度	吹付砕工	270 百万円																																											
<p>※記載内容は見込みであり、確定したものではありません。</p> <p>⑧既整備内容・期間・事業費 未整備</p>				<p>(4) 事業位置図等</p> 																																									

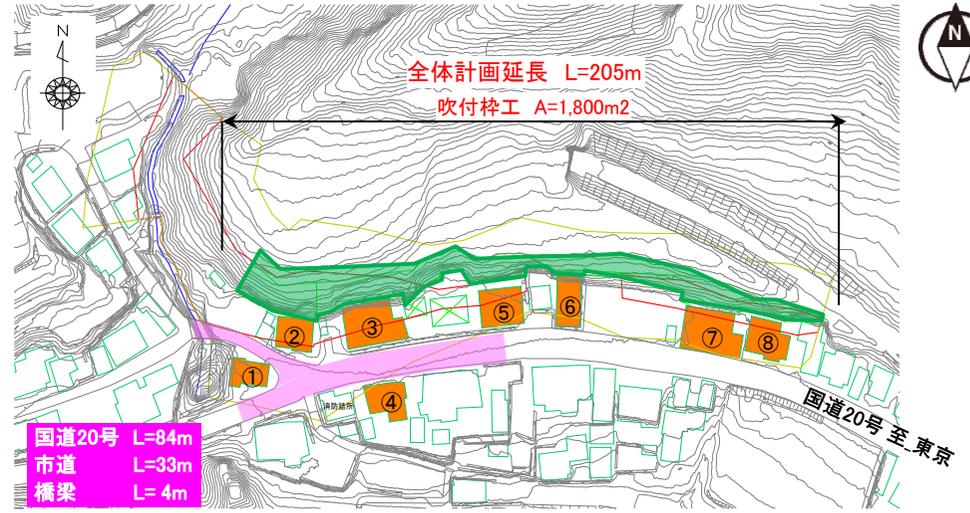
2. 添付資料シート

【斜面鳥瞰図】



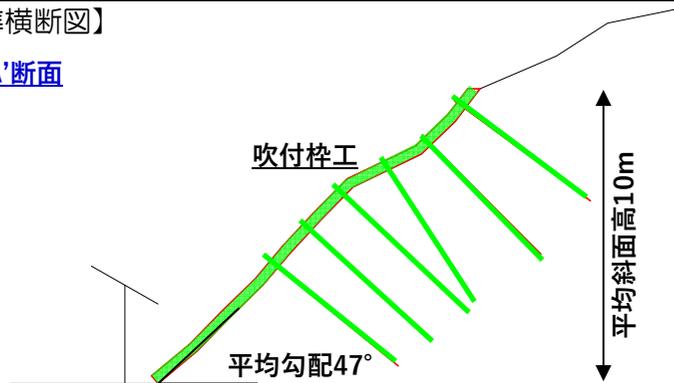
- | | |
|------------|---|
| 計画範囲 | ■ |
| 土砂災害警戒区域 | ■ |
| 土砂災害特別警戒区域 | ■ |
| 保全対象 人家 | ■ |
| 保全対象 事業所 | ■ |
| 道路 | ■ |

【平面図】



【標準横断面】

A-A'断面



①保全対象と斜面状況



②斜面状況(全景)

